

## 地域に根ざしたふるさとキャリア教育 「とびっきりの上川沿」の実践



大館市立上川沿小学校 教諭 伊藤 薫 教諭 櫻庭晴美  
 教諭 津谷 徹 教諭 川崎 裕  
 教諭 畠山真由美 教諭 井川良太郎

### 1 はじめに

上川沿地区は学区に沿って米代川が流れており、川沿いを中心に、稲作、畑作、果樹栽培などの農業が行われている。特に中山地区では、りんご、なし、ぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われており、りんごが農林水産大臣賞を受賞するなど品質のよい果樹が栽培されている。このように上川沿地区で盛んな農業を小学校のふるさとキャリア教育の学びと結び付け、今年度「とびっきりの上川沿」の取組がスタートした。

### 2 総合的な学習の時間におけるふるさとキャリア教育

学校教育目標	夢いっぱい 未来を拓く 上小の子
<b>上川沿小学校 ふるさとキャリア教育の目標</b> 郷土の自然，人間，文化，産業と触れ合う機会を充実させ，そこから得た感動体験から，自己の生き方を考え，地域社会の一員としての自覚やふるさとの発展に尽くそうという気概をもった児童を育成する。	

#### 総合的な学習の時間

〈共通テーマ〉 とびっきりの上川沿 ～上小ドリーム果樹園・上小米夢（マイ・ドリーム）～			
3年	4年	5年	6年
りんごのひみつ (観察・世話・収穫 ・調査・発信)	りんごを使った製品 の開発(りんごジャ ム)	稲作体験 米を使った製品の開 発(米粉パン)	りんご・米を使った製 品の販売

### 3 各学年の実践

#### (1) 3年生の実践 地域の特産品であるりんごについて調べ、そのよさを発信

- ① 地域の特産品を知る，触れる，体験する  
(受賞りんご，りんご製品，自分たちのりんごの木の  
観察と収穫までの作業体験)
- ② 特産品のりんごについて発信するための調査活動  
(インタビュー，インターネット，本，図鑑など)
- ③ きりたんぼまつりなどで発信  
(壁新聞，PRカードの配布)



自分たちのりんごを収穫

(2) 4年生の実践 地域の特産品のりんごを使ったりんごジャム作り

- ① りんごジャム作りのきっかけ  
収穫したりんごで作ることのできる製品を考案
- ② ゲストティーチャーを招いてのジャム作り  
酸味のあるりんごがおいしいジャムになることの理解
- ③ 販売へ向けた活動  
「上小発！とびっきりのりんごジャム」と命名  
ラベル作り・ラベル貼り，ポスター作成



皮入り(右)・皮なし(左)ジャム

(3) 5年生の実践 米(米夢マイ・ドリーム)作りと米粉パン作り

- ① 校地の前の田を借りて行った米作り  
子どもたちが夢を叶えるために努力するよう，米の名前を「米夢(マイ・ドリーム)」と命名
- ② 米を使ったパンのアイデアとグループでのプレゼン  
きざんだりんごを入れた米粉パンの開発
- ③ 米粉パン作りと販売へ向けた活動  
「米夢パン」と命名  
サイズや値段決め，ラベル作り，ポスター作成



米夢(マイ・ドリーム)パン

(4) 6年生の実践 りんご，りんごジャム，米夢パンの販売

- ① 生食りんご販売に向けた活動  
シールを使った創作文字・絵入りりんご作り
- ② 接客マナー講習会  
コンビニエンスストアの店長を講師に接客を学ぶ
- ③ 販売活動  
きりたんぽまつり，学習発表会，上川沿ふるさと文化祭での販売



きりたんぽまつりで販売

4 今年度の取り組みの成果

- ① 地域の自然や人，産業とかかわり，さまざまな体験をすることにより，自分たちのふるさと「上川沿」のよさに気付いたり感動を味わったりした。そして，このことがふるさとに対する自信や誇り，地域社会の一員としての自覚へつながってきている。
- ② 地域の特産品のよさを知ることが，子どもたちの「伝えたい，広げたい」という思いをふくらませ，創造性や発信への意欲を喚起した。そして実際に地域の特産品を使った製品を開発・販売したりメッセージを発信したりすることができた。
- ③ 米作りに協力していただいた方々，果樹栽培の農家の方々，ジャムやパン作りの講師，接客マナーの講師など，地域人材を活用することにより，課題意識や課題解決への意欲を高めたり仕事への関心を深めたりした。
- ④ 価値ある商品が作られるためには，おいしい製品の開発や材料と値段の関係などの課題があること，また，商品販売のための接客マナーの必要性について実感することができた。